

へいわだからたのしいね

浦添市立港川小学校二年 與座 悠真

はる休みにかぞくで、石がきじまにいったよ。ひこうきからうみを見たよ。青とみどりいろできらきらしていたよ。空は、くもがちぎれて青くてきれいだったよ。ぼくのころは、うきうきでいっぱいだったよ。石がきじまのほいくえんで、あそんだよ。はじめてあうおともだちもいたけど、すぐになかよくなっておにごっこをしたよ。やぎさんもいたよ。子どもたちがたくさんいて、やぎさんもたのしそうだったよ。ぼくは、すぐに石がきじまが、大すきになったよ。たのしいことがいっぱい石がきじまだよ。

おかあさんがいったよ。

「はるま、こんなきれいで、たのしい石がきじまだけど、むかしここでもせんそうがあったんだよ。やえ山へいわきねんかんへいってみようか。」

ぼくはすこしこわかったけど、おべんきょうすることも大じだから、ゆう気をだしていってみたよ。

せんそうでたたくさんの人がしんでいるしやしんを見たよ。ばくだんがおちて、町がぐじゃぐじゃのどうがも見たよ。こわいな、かえりたいなとおもったよ。もしぼくがせんそうのじだい

にいたら、おとうさんがへいたいさんになって、かぞくみんなばらになるのかな。さびしすぎて、ここがいたいよ。とおいくにまできこえるぐらい大きなこえでないでしまうよ。

石がきじまから、かえるひこうきにのったよ。みんなたのしそうに、ここにこしていたよ。ひこうきは、かぞくでりよこうにいくたのしのりものだよ。せかいのみんなが、いろいろなくにへいくのりものだよ。だから、こわいばくだんはおとしてほしくないよ。ぼくは、空の上でおいのりしたよ。せんそうはやらないで。ずっとへいわでありますように。